

平成23年度 大学の世界展開力強化事業構想の概要【キャンパス・アジア中核拠点形成支援】

大学名	九州大学
構想名称	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム
相手大学等名 (国名)	上海交通大学 (中国)、釜山大学校 (韓国)

【構想の目的及び概要】

【これまでの取組みと背景】

アジアに向けた海港都市福岡に位置する総合大学として、九州大学は、アジアをはじめ広く全世界で活躍する人材を輩出してきた。日本及び世界の発展に更なる貢献を果たすことを目的に、「人間性の教育」「社会性の教育」「国際性の教育」「専門性の教育」を教育理念に掲げ、平成23年5月1日現在1,866名の留学生のうち89.7%をアジア地域から政策的に受入れるなど、地理的・歴史的な特性を活かした**アジア重視戦略**を展開し、アジアを代表する世界的研究・教育拠点大学となることを目指している。特に、本構想の中心となる総合理工学府では、平成20年に採択された環境負荷なき炭素資源利用の21世紀型パラダイムの構築と人材育成に取り組むグローバルCOE「新炭素資源学」を中心に、中国、韓国等の大学と双方向型研究・教育交流の中で優秀な若手研究者の人材育成を行ってきた。

【構想の目的】

上記のような実績を基に、本構想では、**エネルギー問題とそれに関係する環境問題に関わる科学と技術**（以降「**エネルギー環境理工学**」という。）分野において、将来グローバルに活躍できる高度研究者・技術者を国際連携の下で育成するための**ダブルディグリー理工学大学院協働教育プログラム**を、九州大学（日本）、上海交通大学（中国）、釜山大学校（韓国）が共同開発し、本格的に実施することを目的とする。また、将来的には、本プログラムの成果に基づき、**ジョイントディグリー制度による国際連携大学院を設立**展開し、更に日中韓大学コンソーシアムを拡大する。

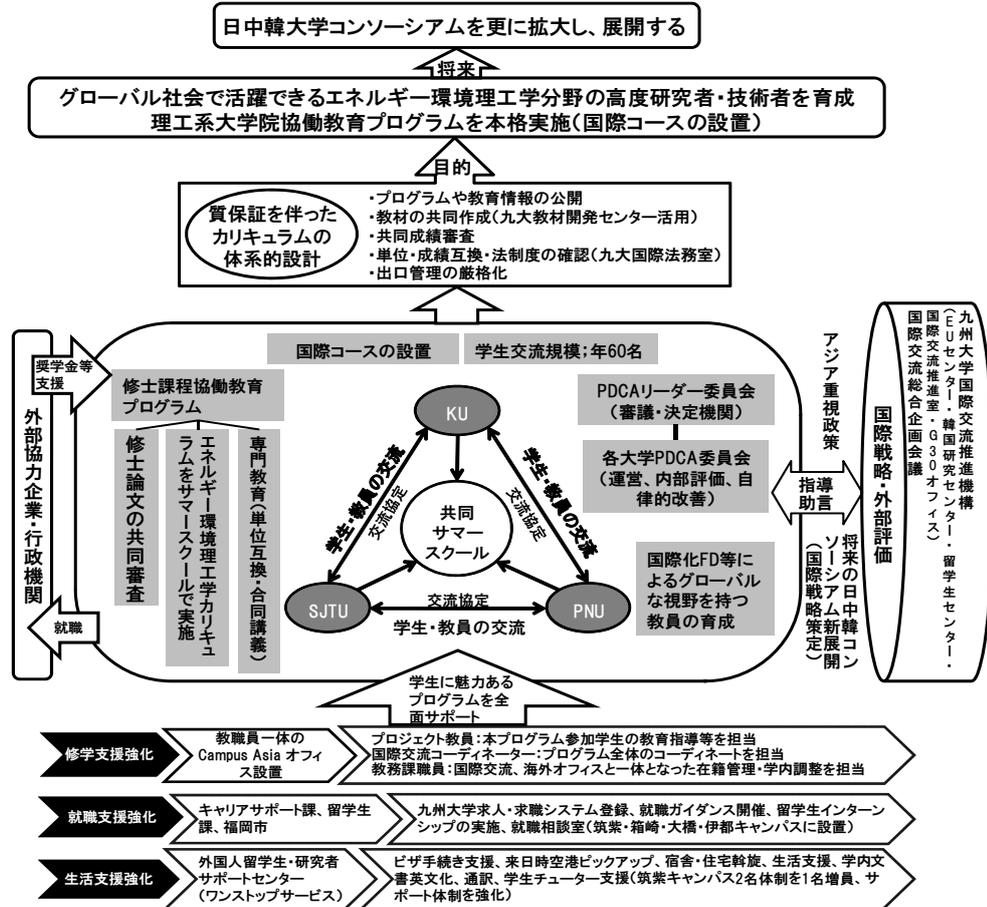
【構想の概要】

- ① 本プログラムにおいて育成を目指す「**エネルギー環境理工学グローバル人材**」の具体像は、
 - (1) 専門分野の深い知識の修得とそれに基づく研究開発能力
 - (2) エネルギー環境問題の現状の理解と発展的考察力
 - (3) グローバルに活動するために必要な英語力
 - (4) グローバル化時代に求められる研究者・技術者倫理、異国の文化・人・社会の理解を備えた人材である。
- ② **大学院協働教育プログラム**：上記人材の育成のために、エネルギー環境理工学分野の深い専門性とその国際的な応用展開能力の涵養をポリシーとする理工学大学院協働教育プログラムを構築する。本プログラムは、**使用言語を英語とした修士課程国際コース**で、「**専門教育カリキュラム**」、「**エネルギー環境理工学カリキュラム**」、「**修士論文研究**」で構成する。本プログラム固有に新設するエネルギー環境理工学カリキュラムでは、インターンシップ科目、課題解決型科目、知財を含む技術者・研究者倫理科目等を設定し、**3大学合同でコース修了証明証を授与する**。さらに、単位互換を活用した専門教育科目の単位認定、修士論文研究の共同審査方法を確立し、**ダブルディグリーを授与するプログラム**である。各年度のコンソーシアム全体の学生交流規模は、財政支援対象の**交換留学生30名**、**サマースクールへの参加学生60名**を基本とする。
- ③ **質保証を伴ったカリキュラム体系の設計と成績管理、学位授与の統一的実施**：日中韓大学コンソーシアム内、各大学に設置するPDCAリーダー委員会、PDCA委員会の主導のもと、各大学のカリキュラム/ディプロマポリシー、単位互換や単位・学位授与に関する法制度との関係を慎重に考慮しつつ、シラバス・成績評価基準の共通化、共同教材の開発や共同講義による教育方法・レベルの標準化、単位認定と学位授与の審査の共同・統一化、出口管理の徹底等により、3大学の質保証の伴ったカリキュラム体系の構築を、取り組み内容をホームページで公開すること等により透明性をもって推進する。
- ④ **日中韓の学生へ魅力的なプログラム提供**：参加学生に対して、グローバル性の涵養のみならず、アジアを中心とするグローバルなキャリアパス形成を可能とするために、各大学において、留学が就職の障害とならないような就職情報の提供やメール相談を行うとともに、参加学生への企業からの冠奨学金等の獲得など修学支援・就職支援・生活支援を強化し、日中韓の参加学生を全面的にサポートする。

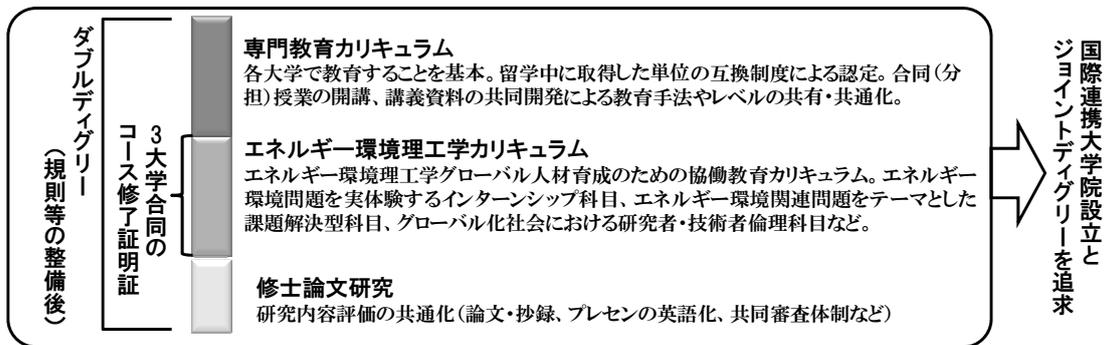
平成23年度 大学の世界展開力強化事業の概要【キャンパス・アジア中核拠点形成支援】

【構想の概念図】

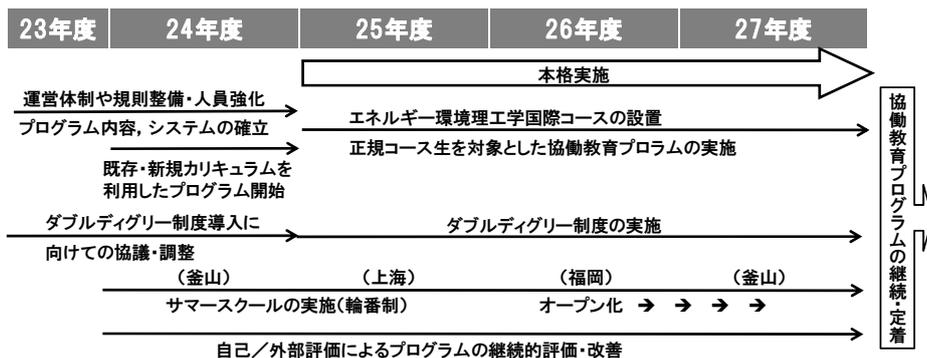
【構想全体像】



【協働教育プログラムの概念と構成】



【年次計画】



平成23年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	九州大学
タ イ プ	A-I
構 想 名	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム
<p>〔評価コメント〕</p> <p>九州という地域性、地の利を活かし、大学としてのアジア重視戦略に沿って上海・釜山の大学との連携を図ろうという今回のプログラムは、大学の国際化に向けた構想として有効と考えられる。</p> <p>また、今回採り上げているエネルギー環境問題は、新たな課題が種々認識されたタイムリーで重要なテーマであること、サマースクールと単位互換を組合せた実施システムについても具体性・現実性が感じられることなども評価できる。</p> <p>なお、これに参画する3カ国の学生にとって、彼らのキャリアパスまで含めたメリットが感じられるのか（特に環境問題に関して日本人学生に中国留学の希望があるかどうか）、実際にターゲットとする人材を育てるためのカリキュラムマップの作成やアセスメント手法などについて十分な検討がされたのか等、成果としての人材育成が目標通りに進むようさらなる検討が求められる。</p>	